



1月15日にぶりの解体をしました。0～2歳児さんには解体前の大きなぶりを見てもらいました。興味津々、自分から近寄りた子もいれば、怖くて近づくと目を瞑って見えないようにする子もいました。

3～5歳児さんには解体を見てもらいました。内臓や頭の中を熱心に観察し「このギザギザはなに?」「血出ててかわいそう」とたくさんの疑問と感想を伝えてくれました。解体を見た後に「いただきます」には二つの意味があるというお話もしました。一つはぶりや野菜はみんなが大きくなるために命をくれたから感謝をしましょう。という意味、もう一つは作ってくれた人に感謝を伝えましょう。という意味のお話をしました。ぶりの解体を見た後の給食の時間ではとても大きな声のいただきますを聞かせてくれました。

16日に解体したぶりを照り焼きにして給食に出すといつもは魚が苦手な子でも一番先に食べていました。命を大切に感じる事ができ、おいしいぶりをみんなで楽しみました。 2026. 1 すみれ保育園